

第3期日光市水道事業経営健全化計画の進捗状況（平成30年度決算）

「第3期日光市水道事業経営健全化計画」は、「第2次日光市総合計画前期基本計画」及び「日光市水道ビジョン」に定める水道事業の将来像の実現を目指し、経営基盤を強化するため、「歳入の確保」及び「歳出の抑制」について、それぞれ目標を設定し、その達成に向けて取り組むべき課題を定めたものです。

計画期間は平成28年度から令和2年度までの5年間で、年度ごとにそれぞれの課題の進捗を公表することとしています。

【各施策の進捗状況】

(1) 歳入の確保

(単位：%)

項目	達成状況	年度	目標値	実績値	目標との差	目標値と実績値に差が出た理由等
令和2年度末の過年度徴収率を29.5%とする。	達成	H30	27.5	29.6	+2.1	収納対策として、給水停止、訪問徴収を実施し未収金の圧縮に努め、目標値を2.1ポイント上回った。今後も、大口分納誓約者との増額交渉等により、過年度徴収率の向上に努める。

(2) 歳出の抑制（削減指標：「△」が達成）

(単位：百万円)

項目	達成状況	年度	目標額	実績額	目標との差	目標値と実績値に差が出た理由等
令和2年度までの施設維持管理費（原水浄水費及び配水給水費）の削減額累計を5千万円とする。 ※平成26年度実績額488百万円を基準とし、毎年10百万円を削減する。	未達成	H30	478	483	+5	配水給水施設等の突発的な修繕が生じたことにより、目標額に対し5百万円削減が進まなかった。今後は、修繕計画を見直し費用の平準化を図る。また、引き続き施設の統廃合等により維持管理費の削減に努める。